

事業の計画が実施中も妥当であるか、当初想定した有効性が発現するかなどの課題を検証するため、中間レビューを実施しています。

中間レビューの概要

中間レビューは、原則として借款契約締結後5年目の段階で、事業計画の妥当性は保たれているか、事業完成後に当初予定されていた通りの有効性が発現するか、有効性やインパクトに影響を与える要素の実施状況は順調かなどを検証するた

めに行うものです。2006年度は13事業を対象に行い、事業の実施状況を踏まえ、事業目標達成のための改善策を含む教訓・提言等について事業実施機関と協議しました。

結果一覧

国名	事業名	中間レビュー結果	
中国	寧夏回族自治区植林植草事業	寧夏回族自治区北部12県(市)等35カ所において、植草、防護固砂林および経済林の造成、植林植草関連設備の整備を通じて対象地域の森林率および植生被覆の向上をはかる本事業は、引き続き重要性が高い。事業は2009年12月に完成予定である。対象地区の森林率および封育地の植生被覆率は、事前評価時の2009年目標値がそれぞれ約10%および約70%であったのに対し、今次実績値は同約9.3%および約50%であり、本事業の有効性の発現は問題ないと予想される。	 銀川市の生態園
	甘肅省道路建設事業	甘肅省白銀市靖遠県劉賽柯～白銀区間に全長約110kmの高速道路を建設し、あわせて白銀市景泰県～蘭州市永登県西槽間において全長約100kmの地方道路を改良する本事業は、引き続き重要性が高い。道路部分は完成しており、「道の駅」類似施設建設を含めた本事業完成は2007年12月の見込みである。中間レビュー時交通量は事前評価時の推計値を下回っているが、一部開発区の整備が進められており、交通量が大幅に増加することが予想される。対象区間の走行時間も大幅に短縮されており、本事業の有効性の発現は問題ないと予想される。	 完成済の高速道路
	湖南省道路建設事業	湖南省邵陽市～懷化市の区間に全長約160kmの高速道路を建設し、あわせて邵陽市の洞口県竹市～城歩県間において全長約100kmの地方道路を改良する本事業は、引き続き重要性が高い。事業は当初計画より若干遅延し、2007年10月完成予定である。邵陽～懷化間および竹市～城歩間の既存道路の交通量は近年それぞれ11.7%および3.7%ずつ増加しており、事業完成後には更なる交通量増加が見込まれる。走行時間や市場等へのアクセス時間の大幅な短縮も予想され、本事業の有効性の発現は問題ないと予想される。	 高速道路終点付近
フィリピン	カトゥピッグ農業総合開発事業	北サマル州中東部カトゥピッグ・バレーにおいて灌漑施設等の農村基盤整備を行う本事業は、引き続き重要性が高い。事業は一部遅延しているものの、2010年12月に完成予定である。事業完成後の有効性の発現については、施設整備および組織改革支援が引き続き適切に実施されれば、問題ないと思われる。NGOと連携し灌漑組合設立支援が行われており、今後は、本事業のコンポーネントである住血吸虫病対策においても住民の意識改革等の支援が望まれる。また、事業完成に向けて、モニタリング体制整備も望まれる。	 展示農場内の灌漑水路
	ラオアグ川治水・砂防事業	ルソン島北部イロコスノルテ州のラオアグ川流域において、砂防ダム等の建設を行う本事業は、引き続き重要性が高い。事業は大型台風などの影響による追加工事に伴い遅延が生じているが、2008年6月に完成する見込みである。事業完成後は対象地域の洪水被害の減少により経済活動の活性化が期待でき、現時点において、有効性の発現に問題は見られない。ただし、台風により損壊した施設の適切な修復が行われることが前提であり、追加予算の配賦について引き続きフィリピン政府に働きかけを行うことが望まれる。	 Cura砂防ダム(完成済)
	北部バラワン持続可能型環境保全事業	バラワン州北部地域において、貴重な環境・生態系の保全をはかりつつ観光開発・振興をはかる本事業は、引き続き重要性が高い。事業は2006年12月に完成しており、本事業により、環境保全すべき地域と観光開発を推進する地域が明確化されており、今後は有効性が最大限発現されるよう、適切な運用・維持管理が望まれる。また、目標の達成状況(有効性の指標)のモニタリング体制整備も望まれる。	 事業対象地域(海域)内の珊瑚

©Yasuaki Kagii (写真右)

国名	事業名	中間レビュー結果	
フィリピン	中部ルソン高速道路建設事業	中部ルソン地域スービック〜クラーク〜タルラックを結ぶ全長約90kmの高速道路を整備する本事業は、引き続き重要性が高い。事業は2007年11月に完成予定である。クラーク〜タルラック間の既存交通網の交通量(AADT:年平均日交通量)は近年4〜5%/年程度増加しており、事業完成後は更なる経済活動の活性化が期待できることから、有効性の発現に問題はみられない。用地取得状況と完成後の運営管理を担う民間オペレーターの選出に留意する必要がある。	 クラーク出口付近 (当該箇所は完成済)
	地方開発緊急橋梁建設事業	地方都市を中心とする国道上の橋梁の架け替え・新設を行う本事業は、引き続き重要性が高い。事業は一部のパッケージで再入札を要したことや実施機関内の手続きの長期化に起因し当初計画より遅延しているが、2009年7月に完成予定である。事業完成後の有効性の発現については、現時点で問題はみられないが、円滑な調達手続きに基づく早期の事業完成が望まれる。	 既存のリハ橋(カピナ州)(今後架け替え予定)
ベトナム	バイチャイ橋建設事業	クアンニン省ハロン市のクアラク海峡に全長903m、幅員25.3m(4車線)のPC斜張橋およびアプローチ道路を建設する本事業は、引き続き重要性が高い。2006年12月に開通後、交通量は2007年2月に前月比5%、同3月には前月比11%の増が確認されており、有効性の発現はすでに裏づけられている。また、フェリー運営会社を橋梁維持管理会社に改組し、従業員の6割を配置転換し継続雇用している点は、今後の類似案件にとって有効な先例になるとと思われる。	 バイチャイ橋(供用開始済)
	タンソンニャット国際空港ターミナル建設事業	ホーチミン市タンソンニャット国際空港において、新国際旅客ターミナル等を建設する本事業は、引き続き重要性が高い。新ターミナルは2007年8月にすでに供用を開始している。ベトナム南部における過去5年間の国際旅客数増加率は13.6%と高く、2012年には本事業の計画容量に達する見込みである。今後の需要動向を見極めつつ、現在計画されている第2空港との機能分担や運営体制を構築することが望まれる。	 新ターミナルビル(建設中)
スリランカ	アッパーコトマレ水力発電所建設事業	マハヴェリ河支流コトマレ川(既存コトマレ・ダム上流)に流れ込み式水力発電所(150MW)を建設する本事業は、引き続き重要性が高い。事業は住民移転に伴い一部遅延している(2011年4月に完成予定)。住民移転等の社会環境配慮は、遅延を防ぐためにも、事業実施前の十分な準備が重要である。本事業の実施中における実施機関の住民への対応、その結果としての計画の変更というきめ細かく、かつ柔軟な姿勢は、他業務の監理にも活用されることが望まれる。	 ナヌ・オヤ地区移転住民用住宅
ブルガリア	ソフィア地下鉄拡張事業	首都ソフィア市の第2期地下鉄建設計画のうち、ブルガリアが経験のないシールド工法を要する第7〜9駅間のトンネルおよび駅を建設する本事業は、引き続き重要性が高い。事業は2008年12月に完成予定であるが、工事位置変更やシールドトンネル工法に関して現地企業への技術移転に時間と手間がかかっているため、さらに遅延する可能性もある。したがって、今後も進捗を注意深くモニタリングする必要がある。ソフィア市が自己資金にて建設中の終点駅付近は住宅地が多く、完成後には利用者が急増することが予想される。	 建設中の駅舎
チュニジア	エルジェム〜スファックス間高速道路建設事業	エルジェム〜スファックス間的高速道路(50.3km)および連絡道路(6.0km)を整備する本事業は、引き続き重要性が高い。事業は2008年3月完成予定であるが、サイト視察時(2007年7月)の進捗状況は60%程度であり、引き続き事業進捗をモニタリングする必要がある。本事業完成後の有効性の発現については、現時点で問題はみられない。ただし、実施機関の財務状況については、営業利益率の悪化がみられることから、注意深くモニタリングを継続する必要がある。	 建設中の高速道路

外部評価者

※略歴は団長のみ(50音順、敬称略)

外部評価者(評価委託先)	略歴
川上照男*、末武透((有)オフィスあさひ)	神戸大学大学院経済学研究科(経済統計学専攻)博士前期課程終了。公認会計士。国内・海外における監査業務を経て2004年より現職。専門は監査、財務・会計管理、政策・事業評価。
種田博*、黒田泰久、藤原純子(OPMAC(株))	大阪大学経済学部経済学科卒業。2004年より現職。開発事業関連調査への従事経験多数。専門は、プロジェクト監理。
原洋一(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))	ペンシルバニア大学経営大学院修士課程(MBA)修了。三和銀行を経て1995年より現職。専門は開発政策、政策評価。